

第4回

持続的発展に向けた空港業務の あり方検討会 ヒアリング資料

学校法人**日本航空学園**



日本航空大学校

北海道 新千歳空港キャンパス

2023 年 4 月 4 日



日本航空大学校 北海道

新千歳空港キャンパス



目指せる職種

航空整備士

客室乗務員

グランドスタッフ

航空機製造エンジニア

グランドハンドラー

航空機・宇宙関連機器設計者

▶航空業界を目指す 4 学科

航空工学科【4 年制】

航空機や宇宙関連機器の設計・開発を行うエンジニアを目指す。豊富な実習機材を使用して航空機の構造やシステム、プログラミング等の航空工学の基礎知識を身に付け、設計や製造に欠かせない CAD を実践的に学ぶことで、最先端のモノづくりに携わる人材を養成します。

航空整備科【3 年制】

在学中に国家資格を取得し、空の安全を守る航空整備士を目指す。本物の飛行機やエンジンを実習機材として使用し、確かな知識と技術を習得します。ANA・JAL と提携して一等航空整備士を養成するコースもあり、航空会社に入社後即戦力として活躍する人材を育成しています。

空港技術科【2 年制】

全国最古のグランドハンドリング学科にて、航空機の運航を地上で支えるスペシャリストを育成します。実習用の空港特殊車両保有数は全国最多。広大な敷地内で空港業務さながらの実習を行い、在学中に 12 種類の資格を取得します。

国際航空ビジネス科

- ・エアラインコース【2 年制】
- ・エアライン・留学コース【3 年制】

CA やグランドスタッフなど「航空会社」の顔を目指す。客室のモックアップ訓練施設を保有しており、実践的な授業が可能。航空業界へ多くの学生を輩出してきた本校だからこそ認められた CA 推薦制度により、コロナ禍でも CA・GS に内定しています。

空港技術科

(2年制・定員80名)

1年次にほとんどの資格を取得し、
2年次の前期には9割の学生が
内定を取得しています。

日本最古のグランドハンドリング学科として
総勢2000名を超える卒業生を航空業界へ

全国一の空港特殊 車両を保有

トローリングトラクター、ハイリフト
ローダー等の特殊車両保有数日本一
を誇り、**広大な敷地を利用して空港の
現場さながらの環境で効率的な実習を
行っています。**

労働局登録教習機関 として登録

フォークリフトや高所作業車を始めと
した**資格を授業の中で取得することが
できます。**

最大12種類の 資格が取得可能

**グランドハンドリングに必須である資
格を在学中に取得するため、エアライ
ン入社後は即戦力として活躍するこ
とができます。**

ANA/JALでの インターンシップ

**新千歳空港にてANA/JAL 両社のイン
ターンシップを実施。ランプで貨物サ
ポートを行い、実際に物流システムに
触れることで幅広い業務への理解を深
めます。**



国際航空ビジネス科

エアラインコース 2 年制
エアライン・留学コース 3 年制 定員 80 名

ボーイング・エアバス両方のモックアップを保有
コロナ禍でも CA・GS を輩出

教育機関では本校のみ！
客室乗務員訓練施設を保有

モックアップ（B737・A380・A330）を使用して実習を行うため、どのエアラインに就職しても役立つ専門知識が身に付きます。また、航空法に基づいた客室乗務員訓練が実施できるため、本校のモックアップはエアライン各社（ANA 政府専用機・JAL・Peach・IHI など）の訓練にも使用されています。

語学力強化プログラム

航空業界では必須スキルの英語を強化するだけでなく、韓国語・中国語の習得を目指します。週 15 時間に及ぶ語学の授業はレベル別クラスで実施。外国人教員による語学授業と TOEIC や英検など資格対策に特化した授業により、効率的に語学を習得できる環境が揃っています。

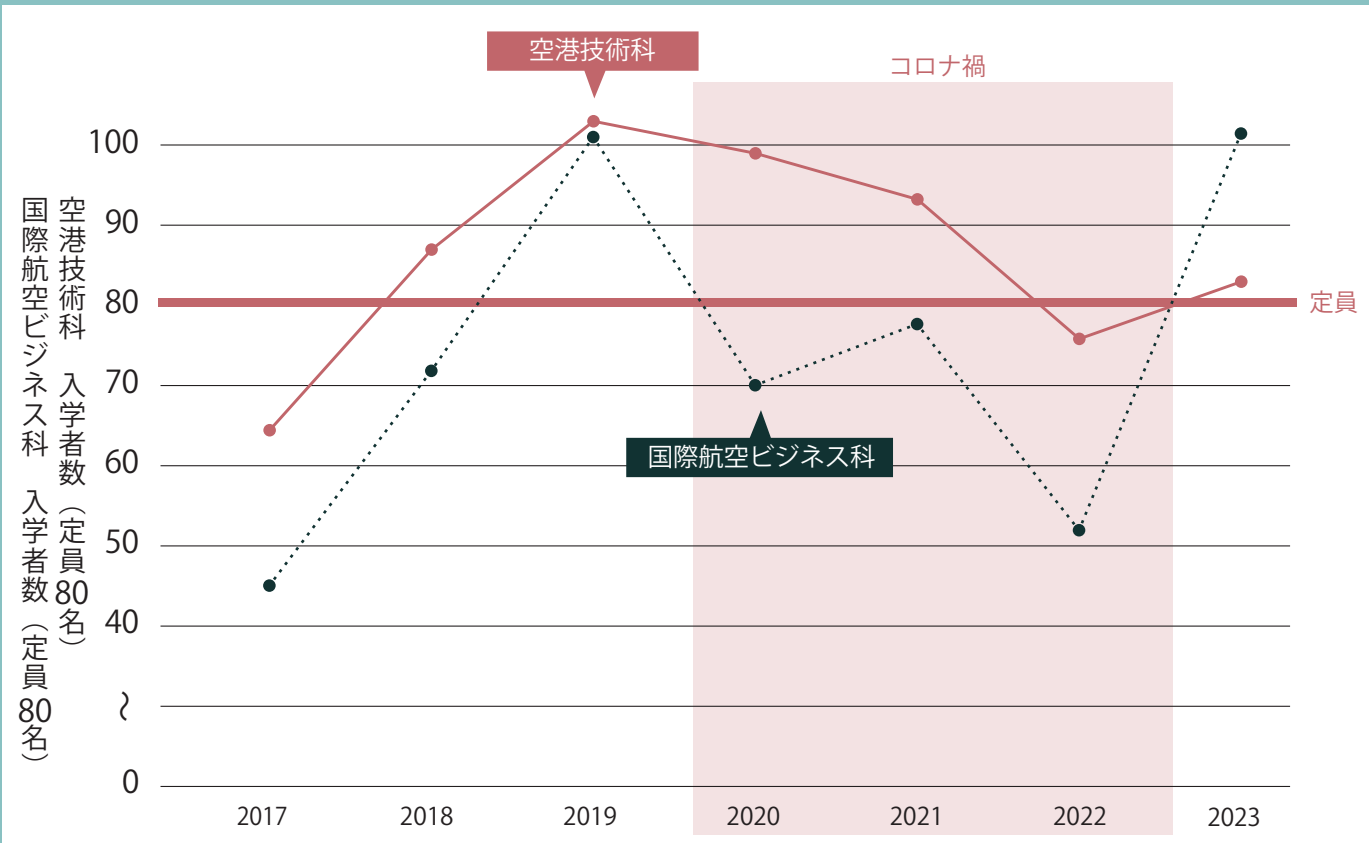
新たにスカイマークの
客室乗務員の
「学校推薦枠」が追加
推薦制度を利用して
客室乗務員へ

企業との強力なパイプと航空業界で活躍する多くの卒業生の活躍により、本校には企業から「学校推薦枠」が直接寄せられます。コロナ禍でエアライン各社が客室乗務員とグランドスタッフの採用を中止した中、本校はコロナ前と変わらず内定をいただいています。



空港技術科・国際航空ビジネス科

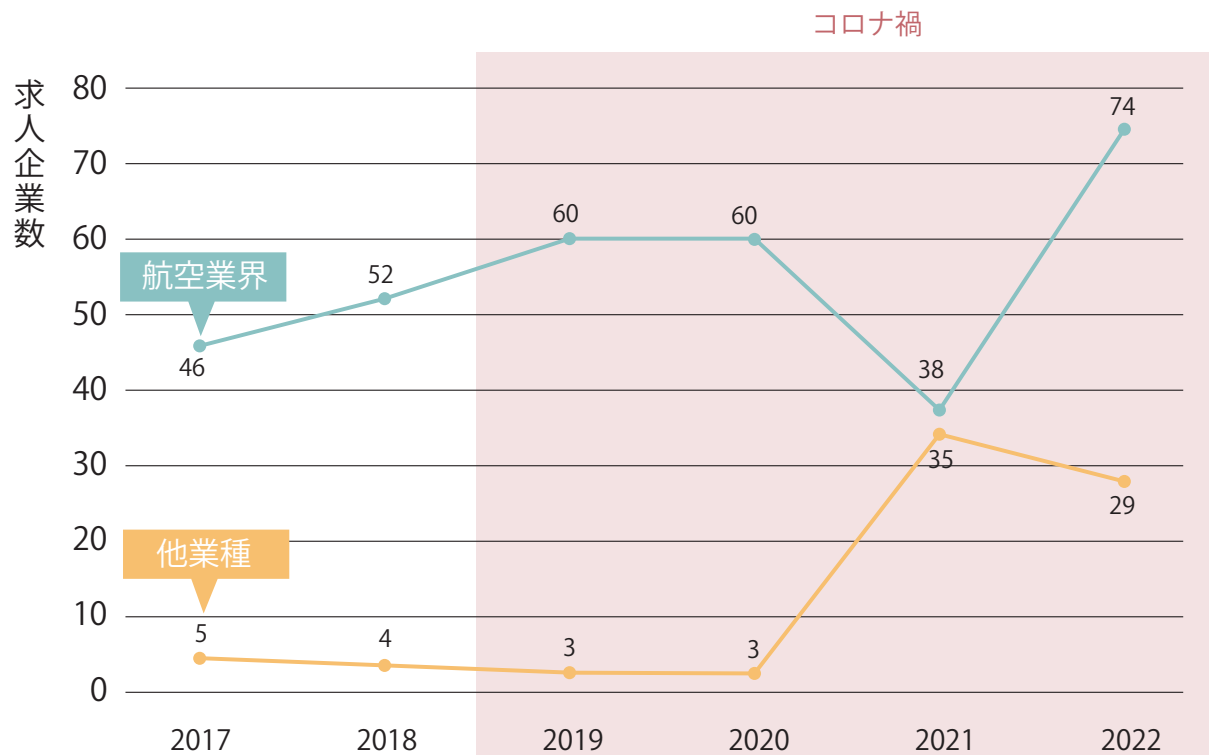
入学者数の推移



足元で着実に人気が回復してきている要因

本校の人気学科で空港技術科と同じ定員数の国際航空ビジネス科の入学者数です。空港技術科は資格の取得数が豊富であり、就職先が安定しているためコロナ禍でも定員をオーバーしています。国際航空ビジネス科は 2023 年急激な入学者増を記録しています。また、本校で行っているそらゼミや出前授業、オープンキャンパスなどの取り組み、そして企業の採用の再開が要因となっています。👉 詳細：12 ページ

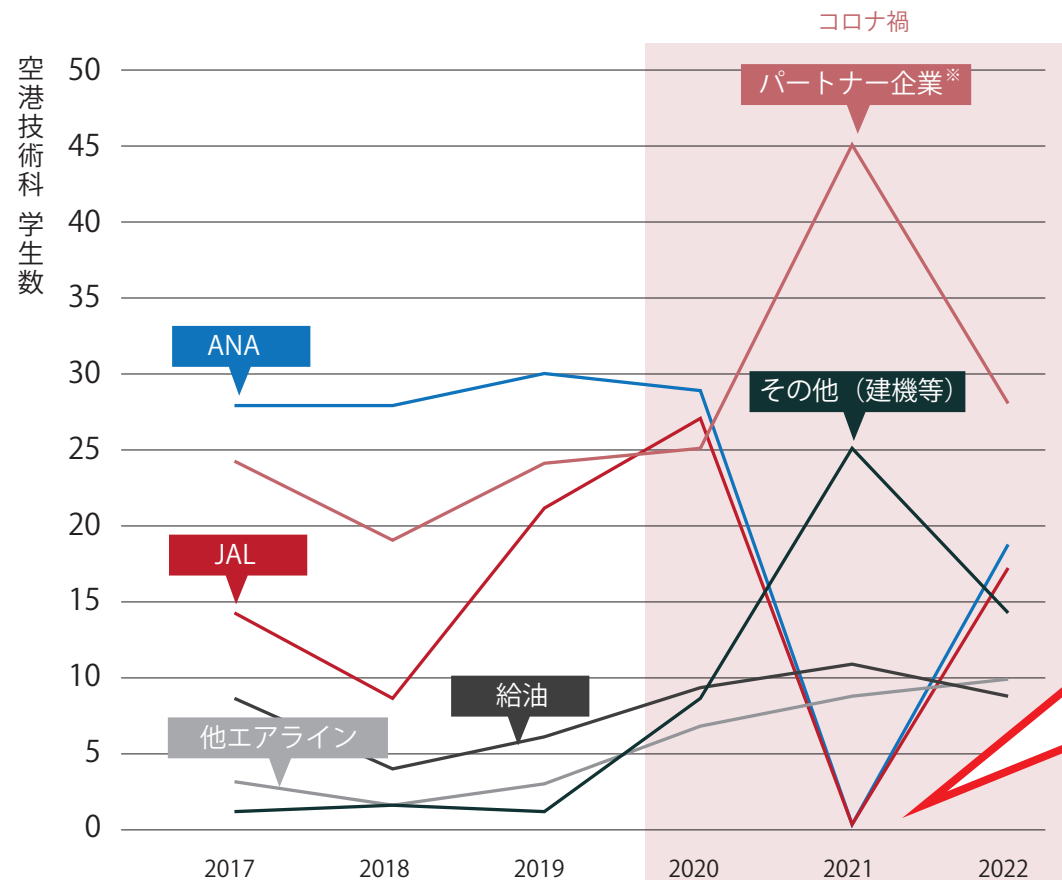
2017～2022 年 グランドハンドリング求人の動向 年度別求人企業数



コロナ終息を起点に求人が増加

新型コロナウイルス感染症がもたらした人流の制限により、航空業界は空港の利用者の激減、それに伴う減便、グランドハンドリングを含む空港職員の減少など求人に大きな影響を与えました。現在、コロナが落ち着きをみせ、各社国内・国際線が需要増加、人員確保が急務となったため求人が増えたと考えます。

2017～2022 年 グランドハンドリング求人の動向 学校紹介による内定者数



※ パートナー企業とは
JAL グループや ANA グループに業務の
委託を受けている企業
(例：メイワスカイサポート：ANA
グラテック：JAL)

2020 年 入学者数 99 名
2021 年 求人
74 社 募集人数 1046 名
(GH 会社 38 社 募集人数 353 名)

2021 年内定者数 (97 名 / 92 名)
パートナー企業：45 名
その他 (建機)：25 名
給油：11 名
他 A/L：8 名
自己開拓：5 名

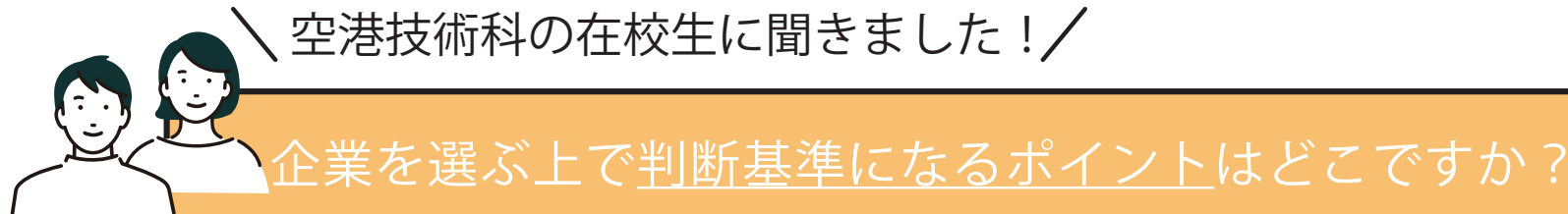
パートナー企業へ出願が集中

初任給が高いパートナー企業へ出願が集中しました。物価高騰、コロナ禍で安定思考の強い学生が多く、ブランド名よりも給料の高い企業を選ぶ傾向にあります。



学生と接している立場からの企業様へのご提案

1. 給与水準検討のご提案
2. 返済不要の奨学金制度の導入のご提案
3. 「共通資格」新設のご提案
4. 航空業界の裾野拡大活動協力のご提案
5. 働きやすい環境整備のご提案



給料



勤務地



休日

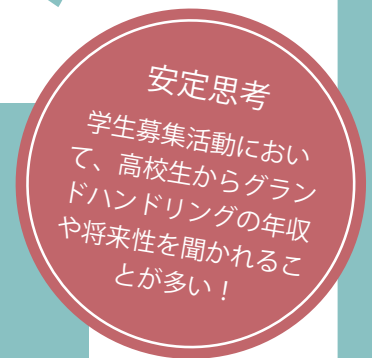


勤務時間



学生の傾向

2000年以降に生まれ育った学生は2008年リーマンショック、2011年東日本大震災を経験した家庭で育っています。そして2020年の新型コロナウイルスの世界的なダメージを肌で感じており、真っ先に選ぶものは「安定」です。昔のような「やりがい」や「ブランド」を第一に選ぶ学生は減少しています。しかし、グランドハンドリングの仕事がカッコいい！飛行機の近くで働きたい！という学生は多く、学生のニーズと企業のニーズが合致すれば、本校の学生募集も増加すると予測しています。



入学の理由・進路変更の理由

本校を選ぶ理由は「実習機材が豊富にある」「就職率が高い」「資格がたくさん取れる」という理由が多いです。また、グランドハンドリングを目指して入学してきても、グランドハンドリング企業以外へ就職を希望する理由は給与面、待遇面が大きく影響しています。

人材不足の要因の一つ
給料の問題

GH 会社



初任給
170,000 円

貨物系企業



初任給
200,000 円

A 社のパートナー企業



初任給
207,000 円

建機系企業



初任給
210,000 円

外資系 GH 会社



初任給
223,000 円



外資系 GH 会社と比べると
53,000 円の差額！
(年収 63 万 6 千円マイナス)

返済不要の奨学金制度の現状



奨学金は貸与支援金が一般的であり、就職後は返済義務があるため生活の負担となっている新社会人も多い。

航空整備士、自動車整備士を目指す学生に対しては、財団法人を始め、学校と企業が連携し、返済不要の奨学金制度があります。この返済不要の奨学金は優秀な学生に支給されており、意欲向上にも繋がっています。

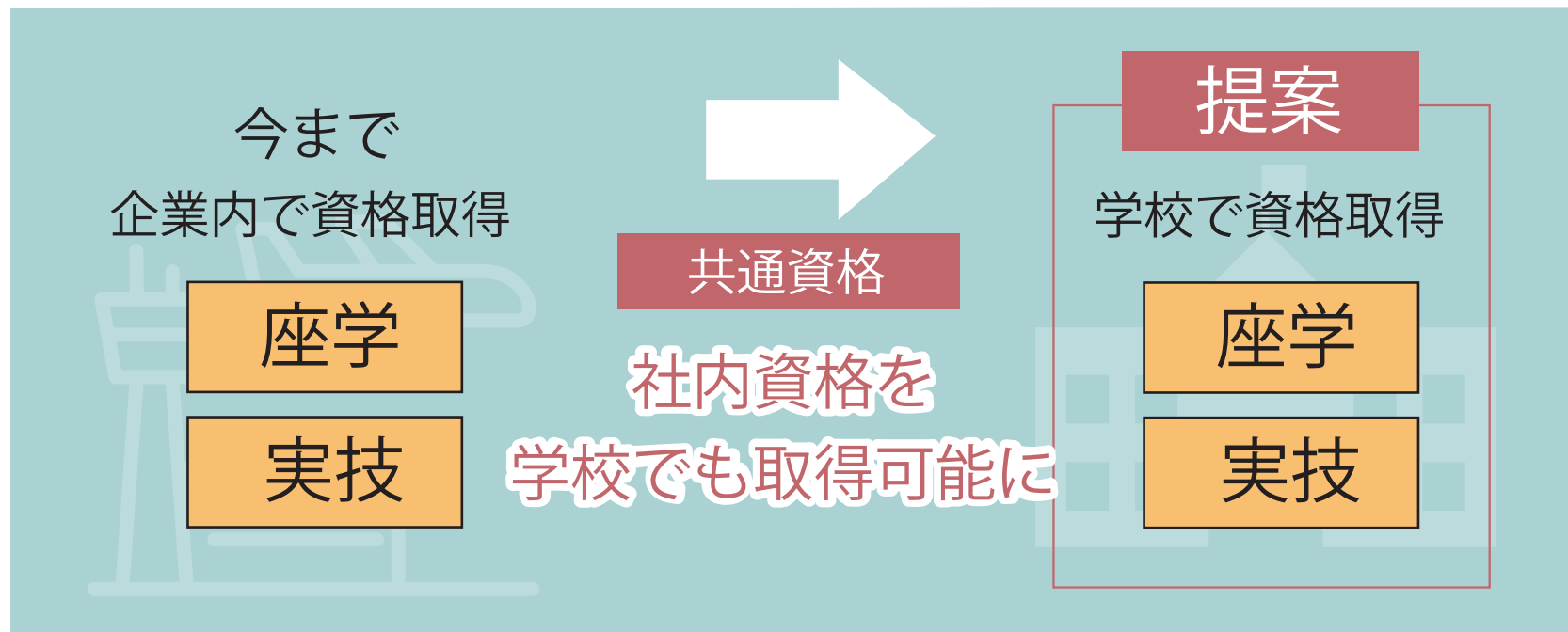
某財団法人 50万円 航空整備科 1 年次の成績優秀者 1 名に対し、50 万円 /1 回を給付する。(2 年次の学費で相殺) 航空整備士	航空系企業 300万円 新卒で入社を希望する学生に支給。 航空系専門学校の 2 年次で選抜された学生が支給対象。 航空整備士	重機系企業 最大 240万円 新卒で入社した学生で返済義務のある奨学金がある社員に対し、月額 2 万円を上限とし、毎月の奨学金の返済月額と同額を給付する。(給付期間：上限 20 年) 航空整備科・空港技術科	自動車系企業 最大 120万円 自動車系専門学校卒業後に奨学金を利用した会社へ入社し、5 年間(60 回)で支給額の半額を支給する。 自動車専門学校
--	---	--	---

返済不要の奨学金制度の導入は学生数の増加が見込め、グラハン人材不足の解消に繋がると考えご提案いたします。

即戦力になる共通資格のご提案

今まで企業内で取得していたロードマスターのような社内資格を学校で取得できるようにしていただきたい。

社内資格取得を学校でも取得可能に



学校で共通資格を取得することによって現場での教育時間の短縮ならびに即戦力となる人材を送り出せると考えご提案いたします。

航空業界の裾野拡大に関する取り組み実績

公益財団法人 日本航空教育協会

- ▶ 空の職業体験（山梨）
- ▶ 高校生対象の空港見学
（修学旅行事前遠足・校外研修の誘致）

【成功事例】

工業高校3年生の生徒4名が「空港見学会」を体験後、航空専門学校へ入学「航空業界」を目指すこととなった。

- ▶ 講演活動
- ▶ 工業高校校長会「夏季講習」

8 空港
15 講座



学校法人 日本航空学園

- ▶ 高校生対象のそらゼミ（全国の空港）

11 空港
令和4年度実績
24 講座

企業の協力の元、全国の空港で航空整備士、グラウンドハンドリング、グランドスタッフ、客室乗務員のお仕事を見学するイベントです。企業紹介、職業紹介、職場見学を行った後に日本航空大学校北海道、石川の学校紹介を行っています。

- ▶ 工業高校校長会「夏季講習」
- ▶ 出前授業
- ▶ オープンキャンパス
- ▶ 航空自衛隊航空祭への参加
- ▶ 文科省採択事業
「地域産業中核的人材養成事業」
日本航空大学校北海道 & 帯広北高校

今後の活動予定

公益財団法人 日本航空教育協会と学校法人 日本航空学園は包括連携協定を結び、航空業界の裾野拡大の取り組みを行います。

公益財団法人 日本航空教育協会

- ▶ 空の職業体験（山梨）
- ▶ 高校生対象の空港見学
（修学旅行事前遠足・校外研修の誘致）
- ▶ 講演活動
- ▶ 工業高校校長会「夏季講習」
- ▶ 空港見学

学校法人 日本航空学園

- ▶ 工業高校校長会「夏季講習」
- ▶ 出前授業
- ▶ オープンキャンパス
- ▶ 航空自衛隊航空祭への参加
- ▶ 文科省採択事業
「地域産業中核的人材養成事業」
日本航空大学校北海道&帯広北高校
- ▶ 全国の空港に出張オープンキャンパス

一般工場見学者枠の一部優先配分

ANA・JAL 機体整備工場見学者 7～8万人/年（300人/日）
見学者が将来航空関連業務に従事したか否かの追跡データなし。
近隣の工業高校等でも企業見学のために一般枠をWEBで確保しようとしている現状。



企業の社会貢献的要素としての工場見学を維持しつつ
その一部を固定枠として将来の航空人材につながる可能性の高い中高生に優先的に配分

公益財団法人 日本航空教育協会



空港見学会

日本航空学園で行っていたそらゼミを当財団で事業化することにより、参加者の間口を広げる。空港見学終了後は希望者に学校紹介を行い、航空業界への進路を誘導する。

【継続して行う活動】

- ▶ 高校生対象の空港見学
- ▶ 空の職業体験（山梨）
- ▶ 講演活動
- ▶ 工業高校校長会「夏季講習」

学校法人 日本航空学園

同日同所にて
空港オープンキャンパスを開催
(希望者が参加)



高校生・既卒者向け

- ・ 学校紹介 & 学科紹介
- ・ 航空業界のお仕事紹介・体験
- ・ 進路相談

主催

- ▶ 日本航空大学校 北海道
- ▶ 日本航空大学校 石川



中学生向け

- ・ 学校紹介 & コース紹介
- ・ 航空業界のお仕事紹介・体験
- ・ 進学相談

主催

- ▶ 日本航空高校 山梨
- ▶ 日本航空高校 石川
- ▶ 日本航空高校 通信制課程



小学生向け

- ・ 学校紹介 & コース紹介
- ・ 空のお仕事紹介・体験
- ・ 進学相談

主催

- ▶ 日本航空高校附属中学校

職業体験や高校生対象の空港見学などを開催することによって、
将来の職業選択に大きなインパクトを与えるのではないかと考えご提案いたします。



専修学校による地域産業中核的人材養成事業

令和4年度より日本航空大学校 北海道と文科省は「高等学校、企業との有機的連携による航空人材育成事業」を行っています。

本事業は、高専共通の教育目標と一貫したカリキュラムを構築することで中核的人材育成の課題とされる「航空業界の人材不足」と、「専門学校での中途退学」を解決するものである。航空業界は2030年に団塊の世代の退職、人口減、少子高齢化による、深刻な人材不足が以前から懸念されている。さらにローコストキャリア（LCC）のビジネススタイルによる路線・機体数の増加に加え、北海道では2019年度より「道内7空港民営化」が開始された。

道内各空港で、空港施設や路線網の拡充が計画され、更なる人材が必要とされるなか、現在のコロナ禍による航空業界の採用見送りも、航空需要回復により採用が再開されると人材不足に拍車がかかることは明らかである。もう一つの課題である中途退学者は、今まで高等学校に対して出前授業などで業界説明はされてきたものの、現場で必要とされる専門教育は行っていなかったため「理想と現実のギャップ」により中途退学するケースがみられる。また、高校教員の航空業界に対する理解が進んでいないため進路指導時に生徒が正しいキャリアパスを描けていない事も航空業界の人材不足の一因となっている。本学では学長のトップマネジメントの下、『高校・大学校連携推進委員会（仮称）』を発足し、独自に開発した教材を使用する事により航空業界のニーズである「専門的な知識を持ちながらも、職種を問わず活躍できる人材」を育成することができる。また、将来の就職先企業の協力が出前授業を発展させた職業教育や就業体験、キャリアパス教育ができるため、航空業界への進路を促し人材不足に対応できる。高専接続においても高校での履修科目を専門学校で単位認定する制度や学費免除等も検討し、専門学校へ進学しやすい環境を整えることで、進学を希望する高校生の後押しを図る。

働きやすい環境作りの取組み事例

協力：トヨタ L&F 株式会社 様



作業現場にも冷暖房完備

整備工場内にも冷暖房を完備している。



女性用休憩室

女性が安心して休憩できる女性専用休憩室を完備。



クリーニング補助

常に綺麗な作業服で業務に従事できるよう、作業服のクリーニングを福利厚生に導入。カゴに入れておけば翌週にはクリーニングされた作業服が返却される。

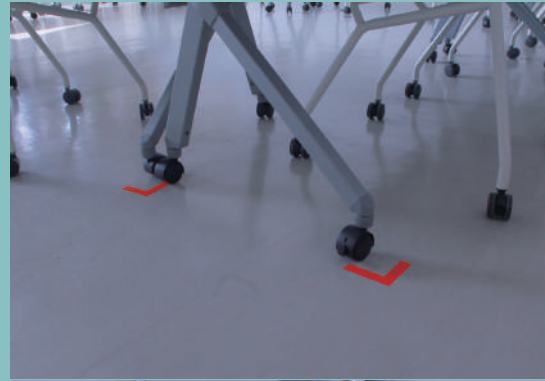
「同じ現場仕事ではあるが、肉体労働の厳しさを感じさせないクリーンで爽やかなイメージ作りがされている。」

働きやすい環境作りの取組み事例



会議室

清潔に保たれ、明るい会議室



整理整頓の工夫

整理整頓を維持するために全ての物の位置にマーキングをし、必ずその位置に戻す工夫がされている。



事務所

整理整頓の風習が定着しており、デスクも綺麗な状態に保たれている。



共同の休憩室

明るく清潔な休憩室。
小上がりもあり、横になることも可能。